# 新創世記ラグナセンティ

## システム、演出、すべて凝ってるぞ

完成度ゲージ 50% 1人プレイのみ

●セガ
●6月17日発売
●価格未定
●A・RPG
●16M+B・B




## またまたガウ・エンタテインメントがやってくれました!

メガドライブのハード的限界を越えるプログラム技術で、昨年好評を博した「エクスランザー」。このゲームで、高い技術力をアピールしたネクステック社(旧名ガウ・エンタテインメント)が、またまたすごいゲームを市場に送り込んできた。その名は「新創世記ラグナセンティ」。画面がスーファミのゲームみたいと感じる人もいると思うが、ゲームシステムの話はとりあえず置いといて、スーファミっぽい色使いはネクステックの技術力によるものだ。メガドラは、スーファミなどに比べて表示できる色数がかなり少ない。それをプログラムで解消した結果、メガドラらしからぬカラフルさになったわけだ。



とにかくカラフルでキレイな画面。「エクスランザー」での技術はここにも生かされている。

## システムのカギを握る動物達

「ラグナセンティ」の特徴の1つは、言うまでもなくそのプログラム技術の高さだ。しかしゲームシステムにも、他のゲームには見られない、新しい要素を含んでいる。なかでも動物を用いたシステムは斬新(ざんしん)だ。


トリニティ・システムは、動物にアイテムやオプション、キャラや武器の成長といった要素を与えている。


動物達は同時に2体まで呼び出すことができ、その組み合わせで特殊な力を発揮することもあるぞ。

これはトリニティ・システムと呼ばれるもので、要するに動物達を仲間にして、有利に戦いを進めようというもの。とはいってもこのゲームはA・RPG。しかもどちらかというと、アクション性のほうが強いのに、パーティー制？　と不思議に思う人もいるかもしれない。仲間になった動物は、いつでも戦いに参加させることが可能。パーティーに加えると、動物はシューティングゲームのオプションのごとく主人公の後をついて来る。動物達にはいろいろな効果があり、あるものは攻撃力を増し、あるものはスピードを増す、といったぐあいだ。もちろん動物達との出会いもストーリーに密接に絡(から)んでくる。しかも動物は同時に2体まで呼び出すことができるぞ。

## オプション動物大集合!

### 犬



主人公の家で飼っていた愛犬。飛びかかり、敵の動きを止める。

### ペンギン



氷の魔法を使える。炎や溶岩系の敵には有効だが、それ以外は？

### ライオン



炎の魔法を使える。主人公の戦闘力を、大幅にアップしてくれる。

### チーター



主人公の移動スピードを、かなり上げてくれる。行動範囲が広がる。

## ~PROLOGUE~

主人公の少年は、勇者を志して日夜修行に励む、ごく普通でどこにでもいる男の子。ある日少年は、街で開かれた占い屋を見たことをきっかけに、人間と会話ができなくなってしまう。ところがその代わり、動物達と話ができるようになった。



オープニングで「ラグナセンティ」の世界の成り立ちに関するデモ・グラフィックが流れていく。



暗い地のそこにうごめくもの達は、やがてモンスターと呼ばれる存在にとなる。それらが今また……。

少年は、占い師の後を追えば元の自分に戻れることを信じて、旅に出ることを決心する。少年の家で飼っていた愛犬を始め、いろいろな動物が少年を助けてくれる。動物達とさまざまな経験をともにするうち、少年はしだいに人間以外の生き物の尊さを知るようになっていった……。

『BEEP! メガドライブ』1994 年 5 月号掲載

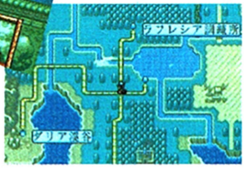
# 序盤戦の舞台となるのはこんな場所！

「ラグナセンティ」は基本的にアクションゲームだ。戦闘、移動ともにアクション感覚で操作する。しかしそれはある地域内での話で、地域間の移動はアクション制ではない。

街などを出ると自分が入る場所を中心とした広域マップが表示される。このマップ画面に現在主人公が進める場所が矢印表示される。自分が進みたい場所を選ぶだけで希望する地域に到着することができる。むだに広いフィールドを歩き回らなくてすむってわけだね。



街の外に出ると、画面は一変してデフォルメされたマップ画面になる。進める場所には、矢印が伸びているぞ。



最初の街では、たくさんの人の話を聞くことがもっとも重要だ。やっぱりＲＰＧの鉄則は守らないとね。

## ソレイユの街




ここはソレイユの街。もちろん主人公も、ソレイユの街に住んでいる。ゲームは、主人公の誕生会が開かれているシーンからスタートする。まずは母親や集まってくれた友達に、いろいろ話しかけてみよう。ソレイユの街には、14歳の誕生日に剣を取り、王様に報告をする風習があるらしい。今日、14歳の誕生日を迎えた主人公も例外ではなく、母親から剣を受け取ると、王様のいるお城へと向かった。

王様は主人公の少年に励ましの声をかけると、ラフレシア訓練場に入れるように手続きをすませてくれる。最初の目的は、ラフレシア訓練場に行き、そこで３枚のメダルを集めることだ。金、銀、銅と３種類あるメダルをすべて集めれば、王様が聖なる剣をくれるらしい。つまり聖なる剣は、訓練場の卒業証書のようなものなのだ。

お城の他にも、ソレイユの街には多くの人と多くの動物がいる。例えば主人公の幼なじみであるアリスは、教会でお祈りをささげているし、牛やニワトリといった動物も多くいる。さらに主人公の家では、かわいい犬を飼っている。「太るのでエサをあげないでください」と書かれた看板がいい。

ソレイユの街の隣には、かなり大きな広場がある。ちょうど今、いろいろなお店が開いているところで、人魚を見られる見せ物小屋(?)や、よく当たると評判の占い屋などがある。しかししばらくの間は、占い屋はお休みになっている。ある条件を満たせば、再び占い屋が開かれるようになるので、気長に待とう。




ソレイユの町の広場にやってきたお店の数々。冒頭のクエストの鍵となる。なんとなく怪しげな店ばかりみたい。

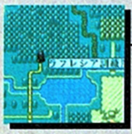



お城の地下室には、なんとモンスター用の牢獄がある。なんでも研究のため、生きたままのモンスターが必要なのだそうだ。



主人公の少年は、14歳の誕生日を迎えた。剣ももらい、訓練場にも入れるようになり、気分はすっかり大人ってところだよね。

## ラフレシア訓練場



王様の許可を得ていれば、ラフレシア訓練場に入れる。この訓練場には、腕に合わせた３つの訓練メニューが用意されている。

最初は一番簡単な、初級コースから挑戦してみよう。後半にさがしているメダルが、１個落ちているぞ。ちなみに中級コースではジャンプ能力が、上級コースではダッシュジャンプ能力が必要だ。




訓練場の入口付近には、剣の名人が住んでいる家がある。しかも彼は、剣飛ばしの技を教えてくれる。ただしコイン20枚必要だけどね。

## アネモネ海岸



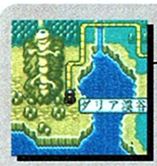

ダリア渓谷のある場所でジャンプをマスターすると、アネモネ海岸に進めるようになる。ジャンプ修得のためには、愛犬を仲間にしておく必要があるぞ。

この海岸にはヒトデやヤドカリのような敵がいるが、なにより驚くのが主人公が歩いた後に、足跡が残ること。とんでもなく凝った演出だ。



歩いた後、足跡が残るのが気持ちいい。ただしはしゃぎまわっていると、落とし穴にハマっちゃうぞ。

## ダリア渓谷




東にあるダリア渓谷は、数多くのモンスターが登場する危険な場所として知られている。しかしこの場所を越えることができれば、さらにいろいろな場所に進めることも確か。がんばって突破しよう。

またこの渓谷では、小さな扉が目につく。この扉、剣で攻撃すると水が流れてくる。その水に入れば、今まで進めなかった場所に行くことも可能だ。こうすることで、ボスとも戦えるぞ。

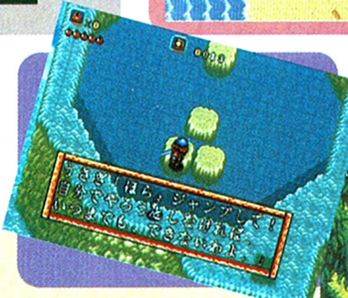


水を使わないと行けない場所に、ボスはひそんでいる。自分のアタマを叩き、周囲に星をちりばめさせるヘンなやつだ。

# まだまだ物語は続くぞ

この先にも、いろいろなエリアが待っている。ここまでのエリアを見ただけでわかると思うが、「ラグナセンティ」はやたらと演出に凝っている。この手のゲームが好きな人には、たまらない１本になることは、まず間違いない。

また仲間になる動物達も、ストーリーが進むにつれ、続々と登場する。彼らとの出会いやその使い方がこのゲームも楽しみの１つだ。続報を期待して待っていてくれ。



ジャンプをマスターすると、行動範囲がイッキに広がる。いろいろ歩いてみよう。



仲間の能力をうまく使い、戦いを有利に進めることが、このゲームのコツになる。動物の種類もかなり豊富だ。

# 新創世記ラグナセンティ




## 仲間になる動物をチェック!

完成度ゲージ 100% 1人プレイのみ

●セガ
●6月17日発売
●8,000円
●A・RPG
●16M＋B・B

## 動物達の力を借りて突き進め!

発売も間近に迫った話題作「新創世記ラグナセンティ」。前回に引き続き、ゲーム内容をじっくり紹介するぞ。ところで、このゲームを進めるうえでもっとも重要になるのが仲間となる動物達。数多くの動物が仲間になるが、その中の2匹までを一緒に呼び出して使える。彼らの特殊な能力を使えば、主人公を助けてくれる。お金で雇える動物もいるぞ。



動物は同時に2匹まで呼び出すことが可能。組み合わせによっては、特殊な効果もあるとか……。



勇者アモンは、ストーリー上大切な役目を果たす。人間の子供達には人気の高い勇者も、動物達の目には、どのように映っているのだろうか。




スタートボタンを押せば、このオプション画面が表示される。仲間にした動物達の呼び出し、解除のほか、ゲームのセーブもできるぞ。



主人公が名人に教わることで使える「剣飛ばしの技」。ペンギンがいれば、この技に氷のパワーが加わり、強化される。

主人公の家で飼っている犬のぽち。主人公とは熱い友情で結ばれており、何かと主人公のためにつくしてくれる。敵に噛みつき、動きを止められる。

## 新社名ネクステックで開発快調!

ガッ・エンタテインメント改めNEXTEC。ところでNEXTECHってどんな会社!? ということでさっそく取材に行ってきたぞ。

「エクスランザー」を制作中、ガッは今後のビジョンをいろいろ考えていた。そしてその頃から32ビットマシンの噂が業界内に広まってきて、ガッのほうにもセガから次世代ゲームの制作のアプローチがきた。開発体制の充実やラインを増やすことなどを話し合い、その結果、セガグループとして新会社を作ることがまとまった。社名はNEXT TAKEとTECHNOLOGYを掛け合わせてネクステック。次世代の遊びの創造がコンセプトだ。そして今回、ガッからの継承ながら1作目として「ラグナセンティ」をリリース。作り手自身がユーザーの気持ちを忘れないことを基本に楽しみながら作った作品とのことだ。




『BEEP! メガドライブ』1996年5月号掲載

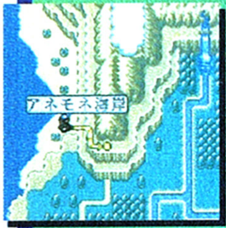
# ゲームの序盤から中盤の名シーンを大紹介

このゲームでは、街や海岸などの要所こそアクションシーンだが、要所間の移動は単純化されたシミュレーション風画面が採用されている。各要所を説明する前に、シナリオの導入部分を簡単に説明しておこう。14歳の誕生日を迎えた主人公のコロナは、剣をとって修行の旅に立つ。ラフレシアの訓練場で修行を積み街に戻った主人公だったが、不思議なことに占い師によって、人間の言葉が使えなくなってしまう。そのかわり、動物の言葉がわかるようになり、ペットであるポチとともに、占い師を探す旅に出るのだった。



カーニバルで出会った占い師が、主人公コロナの人生を大きく変えてしまう。言葉を失うが、しだいに動物達の温かさや人間の傲慢さを知ることになる。

## アネモネ海岸




歩くとペタペタ足跡が付く砂浜。ところどころに落とし穴やアイテムが隠れているぞ。この海岸には、数多くの動物達が住む、ウォーターリリーという街がある。ここで重要な点は2つ。1つは、象に物を持つ技を教わること。もう1つは、岩の向こうから聞こえてくる、動物の声の正体をつかむことだ。

象に技を教えてもらうのは、そんなに難しいことではない。象の助言にしたがって物を持つよう努力すると、自然と持てるようになる。

岩の向こう側は、強風が吹き荒れる危険な場所だ。この強風にあおられると、思うように動けなくなるが、その強風を逆に利用して、通常ジャンプできない場所に進むこともできる。

こうして先に進むと、タコのようなボスが出現。ボスの頭部には、助けを求める声の主、ペンギンの姿が。このボスを倒せば、ペンギンは少年について行くことを決心してくれる。さらに先、ホットデイジーへ向かおう。



アネモネ海岸は行楽地でもあるのか、なぜかどこかで見たハリネズミの姿を発見。「ヤケドするぜ」とか言っているが、実際には触ってもヤケドしないのでご安心を。

### 強風に注意



左右交互に吹く強風。追い風を利用して、少年のジャンプ力をグンとアップさせよう。



ボスらしきタコの化けものは、主人公と同じように動物を味方につけている。8方向に広がる氷状の弾に当たらないように、よけながら戦おう。



ボスを倒せば、アタマの上に乗っているペンギンが仲間に。剣飛ばしの技と併用して、アイスアタックが使えるようになり、心強い。

## ホットデイジー




上空から火山岩が飛んでくる、とても危険なエリアだ。しかもこの火山岩、着地と同時に分裂するからタチが悪い。無理によけようとするより、何も考えずにガンガン突き進んだほうがいいだろう。

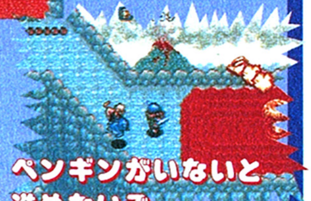
途中にかかっている吊橋のようなものは、一度乗ると崩れてしまうので、後戻りはできない。上空からは炎の龍が襲ってくるが、通常の攻撃や剣飛ばしでは倒せない。炎と言えば氷。そう、先ほど仲間にしたペンギンが、さっそくここで役に立つのだ。

後半にある溶岩池は、残念ながら今までのように、強引に突破することができない。ここでももちろん、動物達の力を借りることで突破が可能になる。この先はすぐ出口になっているぞ。



乗ると崩れる吊橋、落ちてくる火山岩などを、アクションゲーム感覚でかわしていこう。





### ペンギンがいないと進めないぞ

この溶岩池が問題。ジャンプで飛び越すには、ちょっと距離がありすぎる。

## バーンデイジー




せっかくホットデイジーを抜けてきたのに、また溶岩池がジャマで先に進めない。手前にある洞窟に入るしか、手はなさそうだ。

洞窟の内部は、広大な迷路になっている。しかも迷路は多重構造になっており、階段を使って階層を上下する。さらにこの階段がクセモノ。最初から表示されているわけではなく、剣で切って、または剣飛ばしを使って初めて、姿を現すのだ。

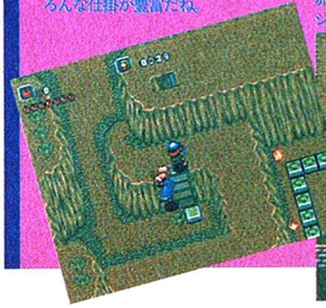
このダンジョンの最深部に潜むのは、かなりヘンなボスだ。ピーナツのような体のボスは、多くのピーナツに分裂し、シャッフルされる。本物のボスは1つだけ。ニセモノを攻撃しても無効なだけでなく、少年のダメージになってしまう。動態視力をするどく駆使すれば、簡単に倒せる。

### パペットマスターを発見!!

迷路の創造主であるパペットマスターの姿も見られる。しかし倒すことも、戦うこともできないようだ。



箱を見つけたらとりあえず攻撃してみよう。階段が出現するぞ。いろんな仕掛が豊富だね。





赤く光っているのが本物。この後で緑に変わり、シャッフルされるので、本物を目で追え。

『BEEP! メガドライブ』1994 年 6 月号掲載

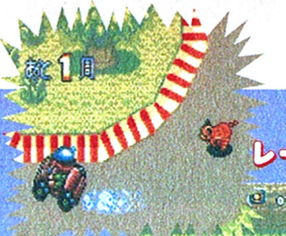
## アイリス地方




やっとのことで、人が住んでいる街を発見。しかし少年は、いまだに人間の言葉がわからないままだ。この街には、勇者アモンも来ているようだが、暴れまわるだけの勇者に対し、動物達は不愉快な思いをしている。




人間達には讃えられている勇者だが、動物達が人間と同じように良く思っているかと言うと、そうではない。



チーターとレースもできる




まともに戦ってもチーターには勝てない。彼を仲間にするためには、話を聞くのが一番の近道だ。

さらにここには、動物達の住むミディアムリリーという村がある。この村の東には、ウサギが仕切っているレース場がある。カートに乗って、チーターとレースができるのだ。レースでチーターに勝てば、チーターを仲間にできるという特典付きなので、もちろん挑戦しよう。ちなみにこのウサギ、かなりアコギなまねをしているようなので、そのへんの事情をチーターに聞いてみると、何かいいことがあるかもしれないよ。

ここにはさらに、マジックローズという村もある。

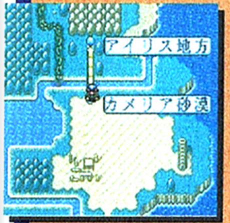


不思議な雰囲気が漂う、マジックローズの村。ここには、人間にモンスターと呼ばれている一家が暮らしている。




ある事件をかたづけると、なんとイモムシまでもが仲間になってしまう。果たしてイモムシの能力とは、いったいなんだろう。

## カメリア砂漠




マジックローズを南に進むと、カメリア砂漠に出る。この砂漠はとんでもなく広く、しかもトラップがそこかしこに仕掛けられている。砂漠のトラップのうち、もっとも手こわいのが、アリジゴクと消える壁だろう。

まずアリジゴクについて。一見ただの丸い穴にしか見えないが、ここに入ると少年の動きが操作不能になってしまう。惰性にまかせて進むしかなくなってしまうので、行きたい場所に行くことが困難だ。

次は消える壁について。よく画面を見ると、壁のところどころに導火線のようなものがあることに気づくはずだ。この壁こそ問題の消える壁で、この導火線につながった赤いブロックを攻撃すれば、ジャマな壁は消えて先に進めるようになる、というわけ。

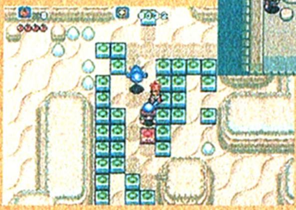
この砂漠の西では、文明の跡らしい遺跡を発見できる。もちろん遺跡には、人間が生活しているような雰囲気はなく、とうの昔に使われなくなったのであろう、朽ち果てた建物が多数あるだけだ。ここにも何か秘密があるのだろうか。



アリジゴクにはまってしまうと、思うように移動できなくなる。ジャンプで飛び越せ。



謎の遺跡を発見!!



入り口には、ちょっとしたパズルが用意されている。導火線に赤いブロックを接続してから、赤いブロックを攻撃すれば、壁は消えてしまう。



砂漠の中には、実は動物達の住む村もある。ここにはなんと、恐竜もいるのだが……。

## この後はこんな場面が舞台になるぞ

カメリア砂漠に来るまでに、いろいろな情報を入手しているはずだが、その中でも気になるのはバベルの塔についての情報だ。

なんでも人間達が、天上界まで届くように建て始めたらしいのだが、それが途中でなぜか中止されてしまっているというのだ。なにか事件の匂いがする。

もちろん、占い師についての情報もある。少年が占い師に会えるのははたしていつ!?

少年は、言葉を取り戻すことはできるのか!?

動物達と心を通わせた主人公の冒険は、まだまだ続く……。

6月17日の発売を控え、来月もさらに突っ込んだ紹介をする予定なので、首を長くして待っていてほしいぞ。



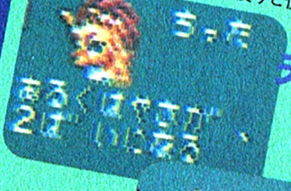

バベルの塔に関する、気になる情報を入手。カメリア砂漠の近くにある。




謎の巨大な穴。この穴の近くに、占い師が足を運んでいたらしい。お金さえ払えば、植物が情報をくれるぞ。

### 仲間になる動物をチェック!

このゲームを進めるうえで大切なことは、動物達を数多く仲間にすること。しかしそれだけではなく、いかに状況に合った仲間を呼び出すかも、とても大切なことだ。たとえば、大きな穴を飛び越えるにはチーターの足の早さが有効だし、敵の攻撃が激しいときはバリアになるコウモリなどを使うと便利だ。



チーター



犬

最初は足が遅い少年も、チーターのおかげで足速になった。行動範囲が大幅に広がるぞ。

次号、続報を待て!!